

願成寺報

平成二十五年十一月二十七日

〒四四〇・〇八二二 豊橋市東新町二十八番地

☎ 〇五三二・五二・九六〇一

報恩講のご案内

今このままを慶ぶことが 仏様への報恩です
そのままの慶びを一緒に 見つめ直しましょう

〇餅つき会

お彼岸よりも沢山の種類のお餅をつきます。
沢山の人手が必要です。是非、お手伝い下さい。
賑やかが一番です。声の応援だけでもお願いします。



十二月 五日(木)

午後一時 餅つき会

七日(土)

午後一時半 法要・法話 戸田信行師

午後四時 お非時(お雑煮)

午後五時 法要・落語 微笑亭さん太師

八日(日)

午前十時 法要・芝居 横浜・なごみ庵

午前十二時 お斎(昼食)

午後一時半 法要・芝居 横浜・なごみ庵

三面に案内チラシを掲載しました、ご参照下さい。
どなたでもご聴聞頂けます、気軽にお誘い合わせてお越し下さい。

「幸福のパラドックス」

「人は自身の幸福を求めれば求める程、不幸になってしまふ」という理論があり、『幸福のパラドックス』と呼ばれます。

・幸福になりたい

← 悩みのない状態を求める

← どうしたらもつと幸せになれるかという悩みが起こる

人間の欲望には際限がなく完全なる満足は不可能

欲望が現代社会を成り立たせている本質である

← 情報によって 欲望を産み出していく社会

・幸福になれない

「私の幸福を求めると永遠の欲求不満になってしまいます。
「幸福は結果として手に入るものであり、求めるものではない」
幸福の追求を捨てて、実現すべき使命に全力で取り組む事が重要だと結論しています。

『自己実現病』というのもあるそうです。

・自分に相応しい家庭・学校・仕事・老後など

自分にこだわって内省的になってしまふと

自意識過剰になり 実現すべき事柄に逃げられてしまふ

自分以外の何かに向けて、我を忘れて取り組むところで、やっと自己が実現するのだそうです。

余計なことを考えず、目の前の問題を「如来のはからい」として真摯に取り組む。それだけで良いのです。けれど難しいですね。難しいと分かったら、さあ、お念仏申しませう。

罪福信ズル行者ハ 佛智ノ不思議ヲウタガヒテ

疑城胎宮ニトドマレバ 三宝ニハナレタテマツル

《愚禿述懐和讃・親鸞聖人》



● 正信偈ノート⑨・釋迦章 III

書き直しを恐れず、今、思い浮かぶところを書き留める

摂取心光常照護 已能雖破無明闇
貪愛瞋憎之雲霧 常覆真實信心天
譬如日光覆雲霧 雲霧之下明無闇

黄色の勤行本の
二十一ページから

摂取の心光、常に照護したまふ。すでによく無明の闇を破すといえども、貪愛・瞋憎の雲霧、常に真實信心の天に覆へり。たとえば、日光の雲霧に覆われるれども、雲霧の下、明らかにして闇なきことなきがごとし。

・心光 色光と心光に分ける場合あり。色光は信心へ導く光、心光は信心を護る光。衆生への働きによる分類。(筆者)

・無明 真理に暗く、道理事象を明らかに理解できない状態。最も根本的な煩惱。迷いの根源。

・貪愛 貪欲の煩惱。好きなことを貪ること。(筆者)

・瞋憎 瞋恚の煩惱。嫌いなことに怒り憎しむこと。(筆者)

〈浄土真宗本願寺派・注釈版聖典より〉

・如来のまなざし

たとえば赤ちゃんが大泣きをしていますが、お母さんの膝の上で、優しいまなざしの中にいるのなら、私達は心配したりしません。逆に、どんなに機嫌よく遊んでいても、お母さんの姿がないと心配です。無力の赤ちゃんには、それを育むまなざしが必要なのでした。

反抗期を経て大きくなると、このまなざしを鬱陶しく感じます。けれど本当に私を育むまなざしは不要になったのでしょうか？ 思い通りになれば有頂天で周りが見え、ならなければ自棄を起こして閉じこもります。目先のことに囚われて、勝った負けたで一生を過ごしてしまいます。行き当たりバッタリで浮かれたり不

平を言ったりしては、悔いのない人生になりません。

もっと別の次元からの、如来からのまなざしがどうしても必要です。どんな時でも私を照らし、このまなざしの中に在ると思いつきさせて下さる働きが『心光常護の益』です。

・人生に往き止りは無い

自分の目標に向かって一所懸命に努力していますが、どうしても辿り着かない場面があります。お先真っ暗で往き止ったと思えますが、ふと薄明りが射します。その光によって暗がりの正体が分かります。自分の目標・成果に拘った煩惱の雲霧。往き止っていたのは、小さな私の小さな煩惱に由来する我儘な目標だったのです。

薄明りの中で、其処を特別な場所と味わうことが出来、次の一歩が見つかります。不遇や老いや病の中で、臨終の瞬間でさえ次の一歩が見つかり、未来に向かって、何かを伝え残すことが出来る身と変わります。

・悲しいけれど苦しくない

無垢の赤ちゃんは苦しくて泣くのでしよう。けれど悲しくはないのだと思います。いろいろな経験を積む中で私達は悲しみを知り、嫌い、苦しみます。しかし、悲しみは苦しみと等しいのでしょうか？ 「嫌」を止めれば苦しみは無くなり、苦しみのない悲しみは慶びと関係しています。例えば別離の悲しみは、共に在る慶びが完成した感情かも知れません。

「納得できない」迷いも、「嫌」を除けば楽しめるかも知れません。我儘を我儘と知らしめる光の益だと思えます。

如来のまなざしの中で安心すると、娑婆の風景が少し違って見えて来るようです。

報 恩 講

12月7日(土)

午後1時半 --- 法要/法話 周崎市 戸田信行 師



長い信仰生活が醸し出す円熟の法話
当山では お馴染みの先生です
80歳を超えた今 人生をどのように戴き 何を語るのか
楽しみです

午後4時 ----- お非時 (お雑煮,他)

皆でついたお餅をお雑煮にします きっと美味しいに違いない

午後5時 ----- 法要/落語 豊田市 微笑亭さん太 師

「笑って長生き落語会」(仮題)



初めての試みです 元気な笑いの中で今を領き直しましょう

【さん太さんプロフィール】

豊橋天狗連会員。「素人社会人落語日本一決定戦」5年連続入賞中。受賞歴多数。
素人ながら、春風亭小朝、笑福亭鶴瓶、立川志の輔 等 プロの落語家に
定期的に落語台本を提供している奇才。

12月8日(日)

午前10時 ----- 法要/芝居 横浜市 なごみ庵



「ふたり語り よきひと、親鸞 恵信尼ものがたり」

夫婦関係を題材にした物語です 本山等大舞台での上演歴多数
午後は親子関係を題材にした新作物語を上演して頂きます
この機会をお見逃しなく!

午前12時 ----- お非時 (胡麻豆腐,飛竜頭,煮物,汁,ご飯,他)

住職が胡麻を摺る 名物:胡麻豆腐 を是非ご賞味下さい(限定40食)

午後1時半 --- 法要/芝居 横浜市 なごみ庵



「親鸞量寿経をひも解く物語 イダイケの涙」

【なごみ庵プロフィール】

真宗高田派僧侶の浦上哲也さんと 舞台女優の保谷果菜子さんの
夫婦二人で精力的に活動中。浦上さんは在家から僧侶となった人。
2010年から自宅を“小さなお寺・なごみ庵”として法話会等を開き、
信心を磨いている。インターネットでは“なごみ庵”で検索できる。



どなたでもご参加いただけます お気軽にお参り下さい

真宗高田派 正覚山 願成寺

440-0812 豊橋市東新町28 / Tel 0532-52-9601

行事予定 〓平成二十六年九月まで〓

一月	一日 (水)	月例法話会・茶話会 (修正会)
二月	一日 (土)	月例法話会・茶話会
三月	一日 (土)	月例法話会・茶話会
	二十一日 (金・祝)	春季彼岸・永代経法会 (成田屋紫蝶師) 落語と法話で楽しく過します
四月	一日 (火)	月例法話会・茶話会
	四日 (金)	本山団体参拝
	五日 (土)	一光三尊仏御開扉 (青山俊董師)
五月	一日 (木)	月例法話会・茶話会
	三十一日 (土)	法話イベント (大垣市 護西賢師) 心理学の先生の楽しい法話です
六月	一日 (日)	月例法話会・茶話会
七月	一日 (火)	月例法話会・茶話会
八月	一日 (金)	月例法話会・茶話会
九月	一日 (月)	月例法話会・茶話会
	二十三日 (火・祝)	秋季彼岸・永代経法会 (戸田恵信師) お馴染みの先生の情熱的な法話

〇 月例法話会の法話は、『歎異抄』を題材にします
美味しいお茶菓子で、ごゆるりとお過ごし下さい。
午後一時から三時半頃まで

〇 本山団体参拝
十七年に一度の御開扉です、青山俊董 (曹洞宗尼僧) 師のお話しを是非聞いて戴きたいと思えます。
日帰りか一泊か迷っています。ご意見をお聞かせ下さい。

〇 法話イベント
計画中です、ご期待下さい

↓ 後記 ↓

〇 経営学では、会社や組織を良くする方法に二種類あると分析するそうです。

ギャップ・アプローチ

理想 (Ⅱ「あるべき姿」) を枠組みとして設定し、現実を分析し、問題を特定する。このギャップを埋めるべく、組織やメンバーに修正や改善を強いる方法。枠組みの中でナンバーワンを目指すアプローチで、評価された価値を実現するために有効。改善ノルマが外側から与えられるので、納得感がなく、不満がたまり組織が疲弊する。

ポジティブ・アプローチ

現実の価値や強みに焦点を当てて、それらを高め・組み合わせることにより理想 (Ⅱ「ありたい姿」) を描く方法。独創的なオンリーワンを目指すアプローチだが、実現した価値がどのように評価されるか不安が残る。

改善意欲が内側から湧き上がり、組織が自然に活性化する。

(ヒューマンバリュー社 [H] を参考にした)

〇 高度経済成長を終え、あらゆる価値が多様になった現代日本社会では、ギャップ・アプローチよりもポジティブ・アプローチの方が有効なようです。我が家にも受験生がおりますが、受験など止めて、オンリーワンを目指してバックパッカーでの世界旅行を勧めようかしら。： きっと、坊守(家内)に怒られます。

〇 ギャップ・アプローチを聖道門的生き方、ポジティブ・アプローチを浄土門的生き方と読み替えて面白がっています。

「あるべき姿」に向かって道を求め、歩んで行く方法と、「いま・ここ・私」を慶びながら、一歩づつ重ねて行く方法。

皆様はどちらを選ばれますか？